

#2
AM

S&H Form: (2/01)

Attorney Docket No. 1359.1047

95978 U.S. PTO
09/866680
05/30/01

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Osami USHIGUSA

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: May 30, 2001

Examiner:

For: INFORMATION DISTRIBUTION APPARATUS AND INFORMATION DISTRIBUTION
METHOD

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith
a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-005405

Filed: January 12, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing
date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the
requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: May 30, 2001

By: 

H. J. Staas
Registration No. 22,010

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC978 U.S. PTO
09/866680
05/30/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 1月12日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-005405

出 願 人

Applicant (s):

富士通株式会社

2001年 4月13日

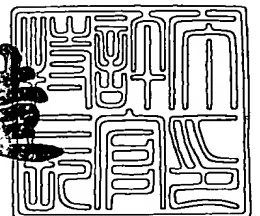
特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及

川

耕

造



出証番号 出証特2001-3030966

【書類名】 特許願

【整理番号】 0095249

【提出日】 平成13年 1月12日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/00
H04L 12/54
H04L 12/58

【発明の名称】 情報配信装置及び記録媒体

【請求項の数】 10

【発明者】
【住所又は居所】 東京都大田区西蒲田7丁目37番10号 株式会社富士
通アドバンスソリューションズ内

【氏名】 牛草 修身

【特許出願人】
【識別番号】 000005223
【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】
【識別番号】 100095555
【弁理士】
【氏名又は名称】 池内 寛幸
【電話番号】 06-6361-9334

【手数料の表示】
【予納台帳番号】 012162
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9803089

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報配信装置及び記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 送り手装置から受け手装置への情報の配信を仲介する情報配信装置であって、

前記送り手装置または受け手装置と通信を行う送受信制御部と、

配信情報の集約度指定を含む配信条件を複数段階に定義した配信ランクのうち、各送り手からの配信情報について各受け手が選択した配信ランクを記憶する配信ランク記憶部と、

前記送り手装置からの配信情報の原文を記憶する配信情報記憶部と、

前記送り手装置から前記送受信制御部を介して情報配信依頼を受けたとき、当該配信情報の受け手が当該送り手からの配信情報について選択した配信ランクを前記配信ランク記憶部から取得し、取得した配信ランクに対応する集約度指定に従って、前記配信情報記憶部に記憶した配信情報の集約処理を行う集約処理部とを備え、配信ランクに応じた配信情報を前記送受信制御部から各受け手装置へ配信することを特徴とする情報配信装置。

【請求項 2】 前記集約処理を経た配信情報の受け手から、配信情報の原文の送信要求を受け、前記配信情報記憶部に記憶されている原文を抽出し、前記送受信制御部を介して当該受け手装置へ配信する再送処理部を備えた請求項 1 に記載の情報配信装置。

【請求項 3】 前記配信ランク記憶部に記憶された配信ランクを集計し、前記送受信制御部を介して送り手装置へ送信するランク情報還元部を備えた請求項 1 または 2 のいずれかに記載の情報配信装置。

【請求項 4】 前記配信ランクを受け手に選択入力させるためのランク設定画面の画面定義情報、または前記ランク設定画面へのアクセス情報を、各配信情報へ付加する画面情報生成部と、

前記ランク設定画面において受け手により選択入力された選択結果の通知に基づき、前記配信ランク記憶部の記憶内容を更新する配信ランク更新部とを備えた、請求項 1～3 のいずれかに記載の情報配信装置。

【請求項 5】 前記ランク設定画面が、前記配信ランクの選択欄に加えてアンケート欄を含み、

前記アンケート欄への回答データを記憶するアンケート結果記憶部と、

前記受け手装置から、前記送受信制御部を介し、前記アンケート欄への回答データを受けて、前記アンケート結果記憶部の記憶内容を更新するアンケート記録更新部と、

前記アンケート結果記憶部に記憶されたアンケート結果を集計し、前記送受信制御部を介して送り手装置へ送信するアンケート情報還元部とを備えた請求項 4 に記載の情報配信装置。

【請求項 6】 前記配信ランク記憶部が、送り手毎または各送り手から配信される情報の種類毎に各受け手により選択された配信ランクを記憶する領域を備えた請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の情報配信装置。

【請求項 7】 所定のアンケート内容および各送り手から提供されたアンケート内容を記憶するメニュー記憶部を備え、前記ランク設定画面の前記アンケート欄に表示するアンケート内容を、前記メニュー記憶部に記憶されたアンケート内容の中から予め各送り手が選択する、請求項 6 に記載の情報配信装置。

【請求項 8】 前記集約処理部による配信情報の集約処理が、所定のルールに基づいて集約を行う処理、および前記送り手から各配信ランクに応じて予め前記配信情報と共に提供された要約を集約結果として出力する処理のうち、各送り手により選択されたいずれかである請求項 1 ～ 7 に記載の情報配信装置。

【請求項 9】 前記配信ランクの初期値を、複数の受け手からの評価に基づき決定する標準ランク決定部を備えた請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の情報配信装置。

【請求項 10】 送り手装置から受け手装置への情報の配信を仲介する処理をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

前記送り手装置から情報配信依頼を受けたとき、

当該送り手装置からの配信情報の原文を、配信情報記憶部へ記憶し、

配信情報の集約度指定を含む配信条件を複数段階に定義した配信ランクであっ

て、当該配信情報の受け手が当該送り手からの配信情報について選択した配信リンクを、配信リンク記憶部から取得し、

取得した配信リンクに対応する集約度指定に従って、前記配信情報記憶部に記憶した配信情報を集約し、当該受け手装置へ配信する処理を、コンピュータに実行させるプログラムを記録したことを特徴とする、コンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、電子メール等の電子情報を配信する情報配信システムに関し、特に、広告主等の送り手装置から利用者等の受け手装置への情報配信を仲介する情報配信装置に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年の情報機器および通信基盤の発達に伴い、誰もがインターネットを容易に利用できる環境が整いつつある。これに伴い、多くの企業がインターネット上に仮想店舗を設け、消費者がこの仮想店舗にアクセスし、いわゆるオンラインショッピングを行うことも一般的になっている。

【 0 0 0 3 】

このようなインターネット上の仮想店舗において、消費者がショッピングやカタログ請求等の手続きを行う際、連絡先として電子メールアドレスを入力することが求められる。そして、これ以降、この電子メールアドレスに対し、仮想店舗の運営業者または広告代理業者等から、広告メール等が定期的に配布されることが多い。

【 0 0 0 4 】

最近では、インターネット利用が可能な携帯電話が急速に普及したことにより、場所及び時間を問わないインターネットアクセスが可能となり、オンラインショッピング等の利用頻度が益々向上するものと予想される。また、これに伴い、消費者が受け取る広告メール数も増加すると考えられる。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、インターネット上のサービス提供者から送られる広告メールは、サービス提供者から一方的に送られるので、その件数および情報量が増大すると、受け手側で以下のような問題を生じる。

【 0 0 0 6 】

すなわち、従来一般的には、メールサーバからダウンロードするメールを受け手が取捨選択することはできず、メールサーバに蓄積された自分宛の全メールがダウンロードされる。従って、広告メールの数及びその情報量が大きくなると、メールサーバから受け手の端末へメールをダウンロードするために時間を要する。特に、一般的に従量課金制が採用されている携帯電話型端末の場合には、広告メールの情報量が増加すると、受け手の費用負担が増大するという問題が生じる。

【 0 0 0 7 】

また、広告メールの数及びその情報量が大きくなると、受け手が、その内容の確認に時間を要する。特に、携帯電話端末の場合、画面が小さいので一度に表示できる情報量が限られており、また、コンピュータ用のメーラーと比較して操作が煩雑なので、多量のメールの内容を迅速に見ることができない。

【 0 0 0 8 】

なお、従来、特定の条件を満たすメールの受信を拒否することのできる仕組みは知られているが、この場合は、その条件に合致するメールは全て、一律的に削除されてしまうので、必要な情報を失ってしまうおそれがある。

【 0 0 0 9 】

また、例えば、特開平 9 - 2 0 0 2 5 4 号公報に、受信したメールの重要度を、予め記憶させたルールに従って判断し、一覧表示内の各メールを、重要度に応じて予め設定された方法で表示することにより、受け手側で受信メールを効率よく処理することを可能とする電子メール表示装置が開示されているが、この装置にしても、メールサーバから全メールの全文をダウンロードすることが前提となっており、上述の問題は解決されない。

【 0 0 1 0 】

本発明はこれらの問題を解決するために、メールの受け手が受信メールの情報量を簡単な操作で調節できるようにすることにより、受け手における利便性を向上させる情報配信装置を提供することを目的とする。

【 0 0 1 1 】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために、本発明の情報配信装置は、送り手装置から受け手装置への情報の配信を仲介する情報配信装置であって、前記送り手装置または受け手装置と通信を行う送受信制御部と、配信情報の集約度指定を含む配信条件を複数段階に定義した配信ランクのうち、各送り手からの配信情報について各受け手が選択した配信ランクを記憶する配信ランク記憶部と、前記送り手装置からの配信情報の原文を記憶する配信情報記憶部と、前記送り手装置から前記送受信制御部を介して情報配信依頼を受けたとき、当該配信情報の受け手が当該送り手からの配信情報について選択した配信ランクを前記配信ランク記憶部から取得し、取得した配信ランクに対応する集約度指定に従って、前記配信情報記憶部に記憶した配信情報の集約処理を行う集約処理部とを備え、配信ランクに応じた配信情報を前記送受信制御部から各受け手装置へ配信することを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

この構成によれば、情報の受け手が予め配信ランクを指定することにより、集約処理部が、指定された配信ランクに応じて配信情報の集約を行う。すなわち、受け手は、配信情報の内容量を、興味の度合い等に応じて段階的に調節することが可能となるので、あまり興味のない情報を集約して、受け取る情報量を減らすことができる。これにより、受け手側にとっては、当該情報を受信するために要する時間を短縮でき、受け手装置において当該情報全体を表示させて内容を確認する手間も省けるという利点がある。この結果、受け手が、その必要度に応じて、受信する情報量を簡単な操作で調節できるようにすることにより、受け手における利便性を向上させる情報配信装置を提供できる。

【 0 0 1 3 】

前記情報配信装置は、前記集約処理を経た配信情報の受け手から、配信情報の

原文の送信要求を受け、前記配信情報記憶部に記憶されている原文を抽出し、前記送受信制御部を介して当該受け手装置へ配信する再送処理部を備えたことが好ましい。

【0 0 1 4】

この構成によれば、集約された配信情報を見た受け手がその情報に興味を持った場合等に、原文の送信要求を行えば、その情報の原文を見ることができる。これにより、受け手は、必要な場合には、集約処理によって失われた情報を入手することが可能となるので、受け手の利便性がさらに向上する。

【0 0 1 5】

前記情報配信装置は、前記配信ランク記憶部に記憶された配信ランクを集計し、前記送受信制御部を介して送り手装置へ送信するランク情報還元部を備えたことが好ましい。この構成によれば、配信情報の送り手にとって、配信した情報に対する受け手の評価を効率良く入手することが可能となるという利点がある。

【0 0 1 6】

前記情報配信装置は、前記配信ランクを受け手に選択入力させるためのランク設定画面の画面定義情報、または前記ランク設定画面へのアクセス情報を、各配信情報へ付加する画面情報生成部と、前記ランク設定画面において受け手により選択入力された選択結果の通知に基づき、前記配信ランク記憶部の記憶内容を更新する配信ランク更新部とを備えたことが好ましい。

【0 0 1 7】

この構成によれば、受け手は、受け手装置において、配信情報の表示画面に付加的に表示されるランク設定画面、または配信情報の表示画面からアクセスできるランク設定画面により、容易に配信ランクを設定することができる。また、受け手が選択した配信ランクは、配信ランク更新部により、配信ランク記憶部に記憶される。

【0 0 1 8】

前記情報配信装置は、前記ランク設定画面が、前記配信ランクの選択欄に加えてアンケート欄を含み、前記アンケート欄への回答データを記憶するアンケート結果記憶部と、前記受け手装置から、前記送受信制御部を介し、前記アンケート

欄への回答データを受けて、前記アンケート結果記憶部の記憶内容を更新するアンケート記録更新部と、前記アンケート結果記憶部に記憶されたアンケート結果を集計し、前記送受信制御部を介して送り手装置へ送信するアンケート情報還元部とを備えたことが好ましい。

【0019】

この構成によれば、配信ランクの設定に用いられるランク設定画面においてアンケートを実施できるので、送り手が、配信情報に対する受け手の意見等を効率的に収集することが可能となる。

【0020】

前記情報配信装置は、前記配信ランク記憶部が、送り手毎または各送り手から配信される情報の種類毎に各受け手により選択された配信ランクを記憶する領域を備えたことが好ましい。

【0021】

この構成によれば、配信情報の受け手は、配信情報の送り手毎に、または、同じ送り手が複数種類の情報を配信している場合はその情報の種類毎に、配信ランクを設定することができる。

【0022】

前記情報配信装置は、所定のアンケート内容および各送り手から提供されたアンケート内容を記憶するメニュー記憶部を備え、前記ランク設定画面の前記アンケート欄に表示するアンケート内容を、前記メニュー記憶部に記憶されたアンケート内容の中から予め各送り手が選択することが好ましい。

【0023】

この構成によれば、送り手は、情報配信装置の管理者等によって設定される所定内容のアンケートを行うこともできるし、自らが作成したアンケート内容を提供することにより独自のアンケートを行うこともできる。なお、本情報配信装置の使用料を送り手に請求する場合、アンケート内容として前記のいずれを選択するかにより、課金額に差を付けても良い。

【0024】

前記情報配信装置は、前記集約処理部による配信情報の集約処理が、所定のル

ールに基づいて集約を行う処理、および前記送り手から各配信ランクに応じて予め前記配信情報と共に提供された要約を集約結果として出力する処理のうち、各送り手により選択されたいずれかであることが好ましい。

【 0 0 2 5 】

この構成によれば、送り手は、情報配信装置の管理者等によって設定される所定のルールに基づく集約結果を配信することもできるし、自らが作成した集約済み配信情報を配信することもできる。なお、本情報配信装置の使用料を送り手に請求する場合、配信情報の集約処理として前記のいずれを選択するかにより、課金額に差を付けても良い。

【 0 0 2 6 】

前記情報配信装置は、前記配信ランクの初期値を、複数の受け手からの評価に基づき決定する標準ランク決定部を備えたことが好ましい。

【 0 0 2 7 】

前記配信ランクの初期値とは、受け手が配信ランクを指定しなかった場合に用いられる配信ランクをいう。この構成によれば、多数の受け手からの評価が高い配信情報に対し、評価が低い配信情報よりも上位の配信ランクを初期値として設定することにより、配信ランクの指定がない場合に、受け手にとってより有意であると思われる配信情報が、より原文に近い状態で配信されることとなる。これにより、配信ランクの初期値を一律にいずれかの配信ランクに設定する場合に比較して、受け手の興味の度合いに沿った集約状態で情報配信を行うことが可能となる。

【 0 0 2 8 】

また、本発明にかかる記録媒体は、送り手装置から受け手装置への情報の配信を仲介する処理をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記送り手装置から情報配信依頼を受けたとき、当該送り手装置からの配信情報の原文を、配信情報記憶部へ記憶し、配信情報の集約度指定を含む配信条件を複数段階に定義した配信ランクであって、当該配信情報の受け手が当該送り手からの配信情報について選択した配信ランクを、配信ランク記憶部から取得し、取得した配信ランクに対応する集約度指定に従っ

て、前記配信情報記憶部に記憶した配信情報を集約し、当該受け手装置へ配信する処理を、コンピュータに実行させるプログラムを記録したことを特徴とする、コンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0029】

この記録媒体のプログラムをコンピュータに読み取らせて実行させることにより、本発明にかかる情報配信装置を実現できる。

【0030】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の一実施形態について、図面を参照しながら説明する。

【0031】

本実施形態では、本発明の情報配信装置を適用したメール配信システムについて説明する。

【0032】

図1に、本メール配信システムの仕組みを概念的に示す。このメール配信システムは、インターネット等の通信ネットワーク上で実現されるものであり、企業（広告主）等と、消費者（利用者）等との間で、電子メールの配信を仲介するメールサーバ（情報配信装置）を備える。

【0033】

広告主からの広告メール等（以下、単にメールと言う）は、受け手である各利用者が契約している接続業者（プロバイダ）のメールサーバを介し、各利用者へ配信される。従来は、一般的に、送り手装置からメールサーバへ送られたメールについては、その全文が無条件に、メールサーバから利用者の端末へ送信されるようになっていた。しかし、本メール配信システムでは、受け手の希望に応じて配信メールの情報量を調整すべく、各受け手がメールの配信条件についてのランク指定を行うことができ、メールサーバは、指定されたランクに応じてメールの集約処理を行う。

【0034】

すなわち、ある広告主からのメールについて、その受け手が一旦配信ランクを指定すれば、当該広告主からの次回以降のメールは、指定された配信ランクに従

って集約されて配信されることとなる。なお、後に説明するが、一旦指定した配信ランクを変更することも可能である。

【 0 0 3 5 】

メールの配信ランクは、メールの集約度指定を含む配信条件を、複数段階に予め定義したものである。図 1 に示した例では、A～E の 5 段階の配信ランクが設けられており、集約度指定と配信時期指定との組み合わせにより、配信条件が定義されている。

【 0 0 3 6 】

集約度指定とは、各メールの情報量をどの程度削減するかを指定したものである。図 1 に示した例では、A および B ランクの場合、各メールの情報量を削減せずに全文を送信するのに対し、C ランクは件名および要約を送信、D ランクは件名のみを送信、E ランクは廃棄（すなわち 1 0 0 % 削減）、というように、集約度指定が定義されている。なお、集約度指定の内容はこの例に限定されず、各システムで任意に設定して実施することができる。

【 0 0 3 7 】

配信時期指定とは、メールをメールサーバから各利用者へ送信するタイミングを指定したものである。図 1 に示した例では、A ランクの場合は、送り手装置からメールサーバへ到着したらすぐに送信するという意味の「即時」が指定されている。また、B ランクの場合は所定の時間帯、C および D ランクの場合は 1 日 1 回、とされている。なお、配信時期指定の内容についても、この他に種々の設定が可能である。

【 0 0 3 8 】

なお、配信ランクについて、図 1 に示した例はあくまでも一例であり、配信ランクの段階数や各ランクの配信条件は、各システムで任意に設定して実施することができる。例えば、この例では、集約度指定と配信時期指定との組み合わせを配信条件としたが、集約度指定のみで配信ランクを定義しても良いし、集約度指定と配信時期指定以外の条件とを組み合わせても構わない。また、配信時期指定に関しては、利用者が都合に合わせて指定できるようにしてもよい。

【 0 0 3 9 】

利用者は、各送り手からのメールについて、以上のように予め定義された複数段階の配信ランクから、自分が希望する配信ランクを選択することができる。各利用者が選択したランク情報は、利用者テーブルに保持される。

【 0 0 4 0 】

例えば、ある広告主からの広告メールについて、利用者が前述のCランクを選択したとすると、この次に、同じ広告主から当該利用者へメールの配信依頼があったとき、メールサーバは、利用者の選択したCランクの集約度指定に従い、当該広告主からの広告メールを、件名および要約に集約する。また、Cランクの配信時期指定は1日1回なので、集約された広告メールは、図1に示すように、同じCランクの他のメールとまとめられ、1日1回所定のタイミングで当該利用者へ送信される。

【 0 0 4 1 】

また、本メール配信システムでは、各利用者に配信ランクを選択させるために、後に詳述するが、図7に示すようなランク設定画面を、利用者端末へ表示させるようになっている。このランク設定画面にはランク設定欄およびアンケート欄が設けられている。

【 0 0 4 2 】

さらに、これも後に詳述するが、広告主が希望する場合には、このアンケート欄を利用して、各広告主が独自のアンケートを行うことも可能である。利用者がこのランク設定画面により入力したランク情報およびアンケート回答は、図1に示すように、メールサーバを介して、広告主へ還元される。

【 0 0 4 3 】

以上のように、本メール配信システムでは、各利用者は、自分の興味の度合い等に応じて、各広告主からの広告メールの情報量を調整することが可能となり、不要な広告メールによる費用や時間の浪費を回避できる。また、広告主にとっても、広告メールに対する評価や、利用者の意見等を知ることができるという利点がある。

【 0 0 4 4 】

以下、本メール配信システムの構成および動作について、さらに詳細に説明す

る。

【 0 0 4 5 】

まず、本メール配信システムの構成について説明する。図 2 に示すように、本メール配信システムは、メールサーバ 1（情報配信装置）と、広告主サーバ 2（送り手装置）と、利用者端末 3（受け手装置）とを含む。メールサーバ 1 と広告主サーバ 2 との間は、インターネット等の通信ネットワーク（図示省略）により接続されている。メールサーバ 1 と利用者端末 3 との間も、同様に、通信ネットワークにより接続される。ここでは、送り手装置をサーバとしたが、必ずしもサーバである必要はなく、パーソナルコンピュータ等の任意のコンピュータを用いることができる。

【 0 0 4 6 】

なお、図 2 では、メールサーバ 1 に接続された広告主サーバ 2 を一台のみ示したが、メールサーバ 1 は、複数の広告主サーバ 2 と接続可能である。同様に、メールサーバ 1 は、複数の利用者端末 3 と接続可能である。

【 0 0 4 7 】

利用者端末 3 としては、メール機能およびインターネットアクセス機能を有する携帯電話や携帯情報端末等を用いることができるが、一般のパーソナルコンピュータであっても良い。利用者端末 3 としてパーソナルコンピュータを用いる場合、メールサーバ 1 と利用者端末 3 とは、常時接続されていても良いし、利用者が接続操作を行ったときに利用者端末 3 側から接続を確立するようになっていても良いし、配信メールがあるときにメールサーバ 1 側から接続を確立するようにしても構わない。

【 0 0 4 8 】

まず、メールサーバ 1 の構成およびその各部の機能の概略について、図 2 を参照しながら説明する。図 2 に示すように、メールサーバ 1 は、送受信制御部 1 0、配信情報記憶部 1 1、利用者情報記憶部 1 2、配信処理部 1 3、利用者情報更新部 1 4、情報還元部 1 5、標準ランク決定部 1 6、メニュー記憶部 1 7、および課金処理部 1 8 を備えている。

【 0 0 4 9 】

前記の配信情報記憶部 1 1、利用者情報記憶部 1 2、およびメニュー記憶部 1 7 は、メモリまたはハードディスク等の記憶装置により実現される。配信処理部 1 3、利用者情報更新部 1 4、情報還元部 1 5、標準ランク決定部 1 6、および課金処理部 1 8 は、所定のプログラムを読み込んで動作する CPU により実現することが可能である。

【 0 0 5 0 】

送受信制御部 1 0 は、所定のプロトコルに従い、広告主サーバ 2 および利用者端末 3 並びに前記通信ネットワーク上のその他の装置等とのデータ送受信を制御する。配信情報記憶部 1 1 は、広告主サーバ 2 から配信依頼されたメール等を記憶する。

【 0 0 5 1 】

利用者情報記憶部 1 2 は、少なくとも、配信ランク記憶部 1 2 a およびアンケート結果記憶部 1 2 b を有する。配信ランク記憶部 1 2 a には、例えば図 3 にその一例を示すように、各利用者のメールアドレスと、当該利用者が配信ランクを指定したメールの送信元アドレスと、当該利用者により指定された配信ランクとが記憶される。送信元アドレスは、広告主サーバ 2 のアドレスである。アンケート結果記憶部 1 2 b は、後述するが、利用者端末 3 から送信されるアンケート結果を蓄積する。

【 0 0 5 2 】

なお、図 3 に示した例において、配信ランク記憶部 1 2 a は、広告主サーバ毎に、指定されたランクを記憶するようになっているが、例えば一広告主が複数種類の広告メールを配信するような場合には、広告メールの種類毎にランク指定を記憶するようにすればよい。一般的に広告メール等は、件名（タイトル）に規則性があるので、件名に基づいてその種類を識別することが可能である。

【 0 0 5 3 】

利用者情報更新部 1 4 は、配信ランク更新部 1 4 a およびアンケート結果更新部 1 4 b を備え、利用者端末 3 から送信される配信ランクおよびアンケート結果に従って、利用者情報記憶部 1 2 における配信ランク記憶部 1 2 a およびアンケート結果記憶部 1 2 b の記憶内容を更新する処理を行う。

【 0 0 5 4 】

配信処理部 1 3 は、集約処理部 1 3 a、画面情報生成部 1 3 b、および再送処理部 1 3 c を備え、広告主サーバ 2 から配信依頼された広告メールを、送受信制御部 1 0 を介して利用者端末 3 へ送信する処理を行う。

【 0 0 5 5 】

集約処理部 1 3 a は、前記広告メールを集約する処理を行う。この集約処理は、後に詳述するが、利用者情報記憶部 1 2 の配信ランク記憶部 1 2 a に記憶されている配信ランクに従って行われる。

【 0 0 5 6 】

画面情報生成部 1 3 b は、利用者が利用者端末 3 から配信ランクを設定することを可能とするために、利用者端末 3 に表示させるランク設定画面の HTML を生成する。配信処理部 1 3 は、この HTML の URL を、配信する広告メールに添付する。これにより、後に詳述するが、利用者は、利用者端末 3 において前記 URL をクリックすれば、ランク設定画面にアクセスすることができる。なお、ここでは、画面定義体として HTML を例示したが、これに限定されない。

【 0 0 5 7 】

再送処理部 1 3 c は、集約されたメールを見た利用者から、当該メール全文の再送が要求された場合に、配信情報記憶部 1 1 から当該メール全文を取り出し、送受信制御部 1 0 を介して当該利用者端末 3 へ送信する。

【 0 0 5 8 】

情報還元部 1 5 は、ランク情報還元部 1 5 a およびアンケート情報還元部 1 5 b を備え、利用者情報記憶部 1 2 の記憶内容を参照し、例えば、各広告主の広告メールに対して利用者からどのようなランク評価がなされているか、また、アンケートに対してどのような回答が寄せられたか等を集計し、送受信制御部 1 0 を介して広告主サーバ 2 へ送信する。

【 0 0 5 9 】

標準ランク決定部 1 6 は、利用者によってランク指定がされていないメールの配信ランクを初期設定する。なお、初期設定される配信ランクは、一律に予め設定されたいずれかのランクとしても良いし、後述するように、他の利用者による

当該メールの評価、すなわち配信ランク記憶部 1 2 a に記憶されている他の利用者による選択ランクに基づいて、決定するようにしても良い。

【 0 0 6 0 】

メニュー記憶部 1 7 は、画面情報生成部 1 3 b によって生成されるランク設定画面のアンケート欄等に表示されるメニューを記憶する。なお、このメニューには、メールサーバ 1 に予め準備されている標準メニューと、各広告主が独自のアンケートを行うためのカスタマイズメニューとの 2 種類がある。各広告主は、標準メニューおよびカスタマイズメニューのいずれを使用するかを選択することができ、カスタマイズメニューを用いる場合には、予めメールサーバ 1 へ、自ら作成したメニューを送信し、メニュー記憶部 1 7 に記憶させる。なお、標準メニューは必ずしも一種類に限定されず、例えば広告主の業態毎に異なる標準メニューを設ける等、任意に設定することができる。

【 0 0 6 1 】

また、課金処理部 1 8 は、広告主への課金額の算出等の処理を行う。

【 0 0 6 2 】

以下、上記のように構成された本メール配信システムの動作について、説明する。

【 0 0 6 3 】

最初に、広告主から広告メールの配信依頼があったときのメールサーバ 1 の動作について、図 4 を参照しながら説明する。

【 0 0 6 4 】

広告主サーバ 2 から広告メールを受信すると、メールサーバ 1 は、受信したメールの全文を配信情報記憶部 1 1 に記憶し（ステップ S 1）、この広告主からのメールについて、当該メールの受け手である利用者により配信ランクが指定されているか否かを判断する（ステップ S 2）。この判断は、利用者情報記憶部 1 2 の配信ランク記憶部 1 2 a に、当該メールの受け手の利用者名と送信元アドレスとの組み合わせを含むレコードが存在するか否かにより行う。

【 0 0 6 5 】

ここで、ステップ S 2 の判断結果が Y E S であれば、指定されている配信ラン

クに従い、配信処理部 1 3 の集約処理部 1 3 a が、配信情報記憶部 1 1 から、ステップ S 1 で記憶させた全文メールを取り出して、集約処理を行う（ステップ S 4）。

【 0 0 6 6 】

一方、ステップ S 2 の判断結果が N O であれば、標準ランク決定部 1 6 が配信ランクの初期設定を行い、この配信ランクに従って、集約処理部 1 3 a が集約処理を行う。ここでは、配信ランクが指定されていない場合は、標準ランク決定部 1 6 が、配信ランクを一律に「ランク A」に初期設定し（ステップ S 3）、ステップ S 4 に進む。なお、ステップ S 3 で用いる配信ランクの初期値は「ランク A」に限定されず、他のランクであっても構わない。

【 0 0 6 7 】

ステップ S 4 の集約処理を行うに際し、前述したランク A または B（図 1 参照）のように、集約度指定が「全文」である配信ランクの場合には、集約処理部 1 3 a は、配信情報記憶部 1 1 から取り出した全文メールをそのまま集約結果として用いる。また、ランク C のように、件名および要約に集約する場合には、集約処理部 1 3 a は、所定の規則に従って要約を作成する。

【 0 0 6 8 】

ここで、集約処理部 1 3 a による集約処理の具体例を述べる。集約処理部 1 3 a は、例えば、タイトル行や見出し行の先頭文字としてよく使われる記号（星印、菱形、または四角等）が先頭にある行を、メール本文の先頭から所定行数だけ抽出するという規則に従い、要約を作成する。なお、2 行以上にわたって先頭に同じ記号が連続する場合、最初の 1 行だけを抽出する。

【 0 0 6 9 】

例えば、メール全文が、図 5（a）に示すような内容であった場合、上述の規則に従って 7 行の要約を作成したとすると、その結果は、図 5（b）に示すようになる。なお、ここで例示した要約の規則はあくまでも一例であり、これに限定されるものではない。また、作成する要約の行数も任意に設定すればよい。

【 0 0 7 0 】

なお、集約処理部 1 3 a による自動集約の場合、例えば図 5（b）に示す要約

の 2 行目および 3 行目のように、あまり有意でない行が抽出されてしまうこともある。このため、本メール配信システムでは、広告主が希望すれば、集約処理部 1 3 a が作成する要約結果の代わりに、例えば図 5 (c) に示すような、広告主自らが作成した要約を用いることも可能となっている。

【 0 0 7 1 】

この場合、広告主は、広告メールを配信依頼する際に、図 6 に示すように、配信依頼するメールの本文 3 2 の前に、自らが作成した所定行数の要約 3 1 を添付して、広告主サーバ 2 から、メールサーバ 1 へ送信する。このとき、広告主は、要約 3 1 の前に、要約の開始を示す所定のフォーマットの判別行 3 3 を配置し、メール本文 3 2 の前に、本文の開始を示す所定のフォーマットの判別行 3 4 を配置する。これらの判別行 3 3, 3 4 により、メールサーバ 1 は、広告主サーバ 2 から受信したメールに要約が含まれるか否かと、要約が含まれている場合には、どの部分が要約であるかを判断することができる。

【 0 0 7 2 】

なお、図 6 に示した例はあくまでも一例であり、自らが作成した要約をメールサーバ 1 へ送信する方法は任意であり、必ずしも本文と要約とを同一メールで送信しなくてもかまわない。また、本実施形態では、要約を必要とするのは C ランクだけなので、図 6 に示した例では一種類の要約のみを本文に添付したが、配信ランクに応じて複数段階の要約を必要とする場合には、各段階に応じた複数種類の要約を、広告主サーバ 2 から提供すれば良い。

【 0 0 7 3 】

なお、広告主サーバ 2 から要約が提供される場合、配信情報記憶部 1 1 には、全文メールと前記要約とが共に記憶される。この場合、集約処理部 1 3 a は、配信ランクが C ランクであった場合、当該メールの要約を配信情報記憶部 1 1 から取り出し、集約結果として用いる。これにより、広告主自らが作成した要約が、送受信制御部 1 0 を介して、利用者端末 3 へ送信されることとなる。

【 0 0 7 4 】

なお、このように広告主が自らが作成した要約を用いるか、集約処理部 1 3 a により自動的に作成される要約を用いるかを、各広告主が選択し、前者を選択した

場合には後者の場合よりも割り増しの料金を徴収する等、課金処理部 1 8 において当該広告主への課金額に差をつける扱いとしても良い。

【 0 0 7 5 】

以上のように、配信ランクに応じてメールの集約を行った後、画面情報生成部 1 3 b が、ランク設定画面の HTML を生成する（ステップ S 5）。図 7 に、利用者端末 3 のディスプレイ 4 に表示されるランク設定画面の一例を示す。図 7 に示すように、ランク設定画面は、ランク設定欄 4 1、アンケート質問欄 4 2、アンケート回答欄 4 3、コメント入力欄 4 4、および決定ボタン 4 5 を有する。

【 0 0 7 6 】

ランク設定欄 4 1 は、プルダウンメニュー等による選択入力により、利用者が配信ランクを選択できるように構成されている。アンケート回答欄 4 3 も同様に、プルダウンメニュー等により予め用意された回答候補を表示し、利用者が、アンケート質問欄 4 2 に表示された設問への回答を選択入力するように構成されている。ただし、選択ランクやアンケート回答の入力方法は、このようなメニューからの選択形式に限定されず、操作キーや手書き文字認識デバイス等により、ランク名やアンケート回答を直接入力する方法によってもかまわない。

【 0 0 7 7 】

アンケート回答欄 4 3 にメニュー表示される選択肢は、アンケート質問欄 4 2 の内容に応じて予め設定され、メニュー記憶部 1 7 に記憶されている。図 7 に示したランク設定画面に表示されるメニューの例を、図 8 に示す。この例は、「ランクを変更した理由を教えてください」という、アンケート質問欄 4 2 の設問に対応した選択肢のメニューである。

【 0 0 7 8 】

図 8 に示した例では、各選択肢には固有の理由 ID が付与されている。この理由 ID は、利用者がアンケート回答としていずれかの選択肢を選択したとき、利用者端末 3 からメールサーバ 1 へ送られ、後述するように、利用者情報更新部 1 4 のアンケート結果更新部 1 4 b により、アンケート結果記憶部 1 2 b に記憶される。

【 0 0 7 9 】

なお、前述したように、各広告主が、その希望により独自のアンケートを行う場合には、各広告主が設定した質問をアンケート質問欄 4 2 に表示すると共に、アンケート回答欄 4 3 に、当該広告主が当該質問に応じて準備したカスタマイズメニューを表示させることができる。この場合、事前に、広告主から、アンケートの質問およびカスタマイズメニューの提供を受け、メニュー記憶部 1 7 に記憶しておくことが必要である。

【0080】

例えば、広告主がパソコンショップであり、利用者に対して、どのような情報を欲しいかについての独自のアンケートを行う場合には、アンケート質問欄 4 2 に、「どのような情報がもっと欲しいですか」という質問を表示し、アンケート回答欄 4 3 のプルダウンメニューに、図 9 に示すような内容の選択肢からなるカスタマイズメニューを表示することが考えられる。

【0081】

このような場合、当該広告主は、予め、広告主サーバ 2 からメールサーバ 1 へ、アンケート質問欄 4 2 に表示させるテキストと、この質問に対応する回答の選択肢（カスタマイズメニュー）とを送信する。メールサーバ 1 では、受信した質問テキストとそのカスタマイズメニューに、例えば固有のメニュー ID を付けて、メニュー記憶部 1 7 に記憶する。各広告主は、メールサーバ 1 のメニュー記憶部 1 7 に対し、このような独自の質問およびカスタマイズメニューを、複数種類登録することも可能である。

【0082】

各広告主は、独自のアンケートを行う場合には、広告主サーバ 2 からメールサーバ 1 へメールを配信依頼する際に、予めメニュー記憶部 1 7 に登録した質問およびカスタマイズメニューのメニュー ID を、当該配信依頼内で指定する。これにより、配信処理部 1 3 の画面情報生成部 1 3 b が、前記ステップ S 5 において、メニュー記憶部 1 7 から、当該メニュー ID の質問テキストおよびカスタマイズメニューを抽出し、これを用いて、ランク設定画面の HTML を生成する。

【0083】

コメント入力欄 4 4 は、利用者が自由にコメントを入力できるように構成され

ている。なお、アンケートの実効性を高めるために、ランク設定欄 4 1 およびアンケート回答欄 4 3 は必須入力とすることが好ましいが、コメント入力欄 4 4 は任意入力であっても良い。

【 0 0 8 4 】

配信処理部 1 3 は、上述のように画面情報生成部 1 3 b により生成されたランク設定画面の HTML の URL を、集約処理部 1 3 a により集約処理されたメールに付加する（ステップ S 6）。そして、配信処理部 1 3 は、配信ランクに応じたタイミングに従い、送受信制御部 1 0 を介して利用者端末 3 へメールを送信する（ステップ S 7）。

【 0 0 8 5 】

なお、CランクまたはDランクのメールについては、配信処理部 1 3 は、複数のメールをまとめて1つのメールとし、ステップ S 6 においてそのメールに URL を付加し、1日1回の所定のタイミングで、ステップ S 7 を実行する。

【 0 0 8 6 】

ここで、メールの受け手である利用者端末 3 側の動作について説明する。図 1 0 に示すように、利用者端末 3 は、メールサーバ 1 からメールを受信すると、受信したメールを、例えば図 1 1 に示すような態様で、ディスプレイ 4 へ表示する（ステップ S 1 1）。

【 0 0 8 7 】

図 1 1 に示す例は、Aランクで配信されたメールである。このように、メールサーバ 1 から配信されるメール本文の先頭部分 5 1 には、前述のステップ S 6 にて付加された、ランク設定画面の URL が表示される。また、当該メールがどの配信ランクで配信されたものかを表すランク表示文 5 0 も、配信処理部 1 3 によりメールに付加される。これにより、利用者は、配信ランクの設定または変更を行うか否かを決定することが容易となる。

【 0 0 8 8 】

利用者は、ディスプレイ 4 に表示されたメールを見て、同種のメールの次回からの配信について配信ランクを設定したい場合、または現在指定されている配信ランクを変更したい場合には、表示されている URL をクリックする（ステップ

S12にてYES)。これにより、利用者端末3は、このURLにアクセスし、ディスプレイ4に、例えば図7に示すようなランク設定画面が表示される（ステップS13）。

【0089】

利用者は、このランク設定画面において、ランク設定欄41、アンケート回答欄43、およびコメント入力欄44に対して入力を行い、決定ボタン45をクリックする。これにより、利用者端末3から、ランク設定欄41で選択入力された配信ランクと、アンケート回答欄43で選択入力されたアンケート回答と、コメント入力欄44へ入力されたコメント内容が、メールサーバ1へ送信される（ステップS14）。なお、このとき、ランク指定の対象となったメールの送信元アドレスと、ランク指定を行った利用者名（メールアドレス）も、同時にメールサーバ1へ送信される。

【0090】

なお、配信ランクがCランクまたはDランクであった場合、複数のメールがまとめて配信され、利用者端末3のディスプレイ4の表示状態は、例えば、図12に示すようになる。この場合、これら複数のメールの各々について配信ランクの変更を行えるようにする必要がある。また、利用者が希望する場合には、オリジナルメールの全文（原文）を再送する仕組みを設けることが好ましい。

【0091】

このため、配信ランクがCランクまたはDランクの場合、メールサーバ1の画面情報生成部13bは、前述したステップS5において（図4参照）、図13に示すような画面のHTMLを生成し、ステップS6において、このHTMLのURLを、メール本文の先頭部分51に付加する。利用者が、このURL部分をクリックすることにより、図13に示す画面が利用者端末3のディスプレイ4に表示される。この画面では、図12の画面に一覧表示されていた複数のメールの各々について、その送信元と件名と共に、ランク変更または原文再送を希望する場合にチェックするチェックボックス61が表示される。

【0092】

図13の画面において、利用者は、配信ランクの変更をしたいメールおよび原

文再送を希望するメールのチェックボックス 6 1 をチェックして、決定ボタン 6 2 を押す。図 1 3 の例では、利用者は、1 件目に表示されたメール（“送信元 1”からのメール）と 2 件目のメール（“送信元 2”からのメール）について配信ランクの変更を希望し、3 件目のメール（“送信元 3”からのメール）について原文再送を希望している。なお、同一メールについて配信ランクの変更と原文再送の両方を行うことも、もちろん可能である。

【 0 0 9 3 】

決定ボタン 6 2 が押されると、この利用者端末 3 は、“送信元 3”からのメールの原文再送を指示する命令を、メールサーバ 1 へ送る。この命令は、送受信制御部 1 0 を介して配信処理部 1 3 の再送処理部 1 3 c へ渡される。再送処理部 1 3 c は、配信情報記憶部 1 1 から、前記“送信元 3”からのメールの原文を抽出し、送受信制御部 1 0 を介して当該利用者端末 3 へ送信する。なお、配信情報記憶部 1 1 におけるメール原文の格納位置（識別子等）を、図 1 3 に示した画面の HTML の中に記述しておき、これを利用者端末 3 から再送処理部 1 3 c への前記命令に含めればよい。

【 0 0 9 4 】

図 1 3 に示した画面の HTML には、この画面に一覧表示されたメールの各々についてのランク設定画面の URL 情報も記述されている。これにより、利用者端末 3 は、ランク変更がチェックされたメールのランク設定画面の URL を HTML から抽出し、当該ランク設定画面を表示する。例えば、図 1 3 の例では、利用者端末 3 は、“送信元 1”からのメールについてのランク設定画面の URL と、“送信元 2”からのメールについてのランク設定画面の URL とを前記 HTML から抽出する。そして、まず、“送信元 1”からのメールのランク設定画面を表示し、これに対して利用者が入力を終了すると、次に、“送信元 2”からのメールのランク設定画面を表示する。

【 0 0 9 5 】

以上の仕組みにより、C ランクまたは D ランクの場合に、まとめて配信される複数のメールの各々について、配信ランクの変更や再送の要求を行うことができる。

【 0 0 9 6 】

次に、図 1 4 に、利用者端末 3 から配信ランク指定およびアンケート回答等を受信した際の、メールサーバ 1 の動作を示す。

【 0 0 9 7 】

利用者端末 3 からメールサーバ 1 へ送信されるデータは、(1) 利用者名 (メールアドレス)、(2) ランク指定の対象となったメールの送信元アドレス、(3) 指定された配信ランク、(4) ランク設定画面のアンケート回答欄 4 3 において利用者により選択された回答の理由 ID、および (5) コメント入力欄 4 4 へ入力されたコメントのテキストとを含む。なお、前述したように、上記 (1) ~ (4) のデータは必須であるが、(5) のデータはなくてもかまわない。

【 0 0 9 8 】

メールサーバ 1 では、利用者端末 3 から送受信制御部 1 0 を介してこれらのデータを受信すると、利用者情報更新部 1 4 が、利用者情報記憶部 1 2 の記憶内容を更新する (ステップ S 3 1)。具体的には、利用者情報更新部 1 4 の配信ランク更新部 1 4 a が、前記 (1) ~ (3) のデータを項目を含むレコードを作成し、利用者情報記憶部 1 2 の配信ランク記憶部 1 2 a に追加する。同じ利用者名と送信元アドレスとの組み合わせを含むレコードが既に存在する場合は、当該レコードを上書きすることにより、配信ランクの変更が行われる。

【 0 0 9 9 】

このように、配信ランク更新部 1 4 a により配信ランク記憶部 1 2 a の記憶内容が更新されることにより、同じ広告主サーバ 2 から次回にメールの配信依頼があったとき、利用者により設定または変更された配信ランクに基づいて集約処理がなされることとなる。

【 0 1 0 0 】

また、利用者情報更新部 1 4 のアンケート結果更新部 1 4 b は、前記 (4) の理由 ID および (5) のコメントのテキストを、配信ランク記憶部 1 2 a に記憶された利用者名および送信元のデータと関連付けた状態で、アンケート結果記憶部 1 2 b に記憶させる (ステップ S 3 2)。

【 0 1 0 1 】

情報還元部 1 5 のランク情報還元部 1 5 a およびアンケート情報還元部 1 5 b は、利用者情報記憶部 1 2 の記憶内容を、例えば 1 日 1 回または週 1 回等の所定のタイミングで集計し、その集計結果を、送受信制御部 1 0 を介して、各広告主の広告主サーバ 2 へ送信する。ランク情報還元部 1 5 a は、利用者情報記憶部 1 2 の配信ランク記憶部 1 2 a の記憶内容を集計し、アンケート情報還元部 1 5 b は、アンケート結果記憶部 1 2 b の記憶内容を集計する。

【 0 1 0 2 】

情報還元部 1 5 による集計内容の一例を、図 1 5 に示す。この例では、各利用者による指定ランクと、アンケート回答と、コメントの内容とが、広告主毎に集計される。なお、ここでは、アンケート回答が理由 ID により表されているが、広告主サーバ 2 へ送信する際には、この理由 ID を対応するテキスト（図 8、図 9 参照）に置き換えても良い。また、広告主へ還元する情報の内容はこれに限定されず、例えば、利用者を匿名に置き換えたり、A ～ E の各ランクが全利用者の何％によって選択されたかを算出したり、各々の理由 ID の件数を集計して通知したりする等、必要に応じて任意のデータ処理を行った結果を還元することが可能である。

【 0 1 0 3 】

このように、各広告主に、指定ランクやアンケート回答等に基づく利用者の評価を送信することにより、各広告主は、広告メール等に対する利用者の評価およびアンケート結果等を効率的に入手することができる。

【 0 1 0 4 】

以上のように、本実施形態にかかるメール配信システムによれば、利用者は、配信ランクの指定を行うことにより、定期的に配信されかつ情報量の多い広告メール等の内容を、興味の度合い等に応じて集約して配信させることができる。また、配信ランクの指定は、利用者端末 3 のディスプレイ 4 に表示されるランク設定画面において、簡単な操作によって実行でき、一旦指定したランクの変更も容易である。

【 0 1 0 5 】

これにより、特に、利用者端末 3 が、コンピュータ型端末に比べてディスプレ

イが小さく、入力デバイス（操作キー）にも制約がある携帯電話型端末である場合に、従来問題となっていた、多量の広告メール等を受信することによって費用負担が増大したり、メールの確認に手間を要したりするといった不都合を、効果的に解消することができる。

【0106】

また、上記の説明では、配信ランクが指定されていないメールの場合には、標準ランク決定部16が、一律に所定のランクを初期設定したが、これに限らず、当該メールに対する他の利用者の評価に基づいて、配信ランクを決定するようにしてもよい。

【0107】

この場合、標準ランク決定部16は、配信ランク記憶部12aの記憶内容を参照し、他の利用者が当該メールに対して選択したランクに基づいて、配信ランクを決定する。

【0108】

例えば、前述したランクA～Eの5段階による評価の場合に、上位ランクになるほど高い加点を付けて各利用者による評価を集計し、得点の高い順に広告主を順位付けし、上位10%の広告主の配信ランクをランクAとし、次の45%をランクB、次の35%をランクC、残り10%をランクDとする等の方法が考えられる。なお、各ランクを割り振るパーセンテージが任意であることは言うまでもない。また、この場合、この方法で配信ランクを設定するメールを、一定数以上が配信され、かついずれかの利用者によりBランク以下の評価がなされているメールに限定すれば、利用者による評価を適切に反映した配信ランクを決定することができる。

【0109】

なお、本実施形態は、本発明を限定するものではなく、発明の範囲内で種々の変更が可能である。例えば、上記では、送り手装置から受け手装置への情報配信を仲介する情報配信装置を、一台のメールサーバのみで実現する構成を例示したが、送り手装置と受け手装置との間に、例えば転送サーバや仲介サーバ等の他の装置が介在する構成としてもよい。この場合、本実施形態で図2等を示したメー

ルサーバの機能の一部を、前記他の装置に担わせることも可能である。

【 0 1 1 0 】

また、上記の説明では、メール本文の先頭部分にリンク設定画面の URL を付加し、URL をクリックすることによりリンク設定画面を表示するものとしたが、リンク設定画面そのものをメール本文と共に表示するような形態であっても構わない。

【 0 1 1 1 】

さらに、上記の説明では、利用者がリンク設定画面（WEB ページ）によりリンクの設定を行う例を示したが、これに限らず、特定のアドレスへ特定のフォーマットの電子メールを送信することによって、リンク設定を行う構成とすることもできる。

【 0 1 1 2 】

また、上記の説明では、利用者情報記憶部 1 2 において、配信リンク記憶部 1 2 a に、利用者名、送信元アドレス、および配信リンクを含むレコードが記憶され、アンケート結果記憶部 1 2 b に、前記の利用者名および送信元アドレスに関連付けて、アンケート回答の理由 ID およびコメントのテキストが記憶されるものとしたが、これら以外の情報が記憶されていても構わないし、データ構造も上記の例に限定されない。

【 0 1 1 3 】

【発明の効果】

以上に説明したように、本発明によれば、受け手の希望に応じて、受け手へ送信する情報の情報量を調節することにより、受け手の利便性を向上できる情報配信装置を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の一実施形態にかかるメール配信システムの仕組みを概念的に示す説明図

【図 2】 前記メール配信システムの構成の一例を示すブロック図

【図 3】 前記メール配信システムにおいて、メールサーバが備える利用者情報記憶部の記憶内容の一例を示す説明図

【図 4】 メールの配信依頼があったときの前記メールサーバの動作を示すフローチャート

【図 5】 (a) は、広告メールの原文の一例を示す説明図、(b) は、前記メールサーバにより所定の規則に従って作成される前記原文の要約の一例を示す説明図、(c) は、広告主によって提供される前記原文の要約の一例を示す説明図

【図 6】 広告主から要約を提供する場合のメール原文の一例を示す説明図

【図 7】 利用者端末に表示されるランク設定画面の一例を示す説明図

【図 8】 前記ランク設定画面のアンケート欄に表示される標準メニューの一例を示す説明図

【図 9】 前記ランク設定画面のアンケート欄に表示されるカスタマイズメニューの一例を示す説明図

【図 1 0】 メールを受信したときの利用者端末の動作を示すフローチャート

【図 1 1】 利用者端末における、Aランクの広告メールの表示例を示す説明図

【図 1 2】 利用者端末における、Cランクの広告メールの表示例を示す説明図

【図 1 3】 Cランクの広告メールのランク変更または原文再送を要求するための画面の一例を示す説明図

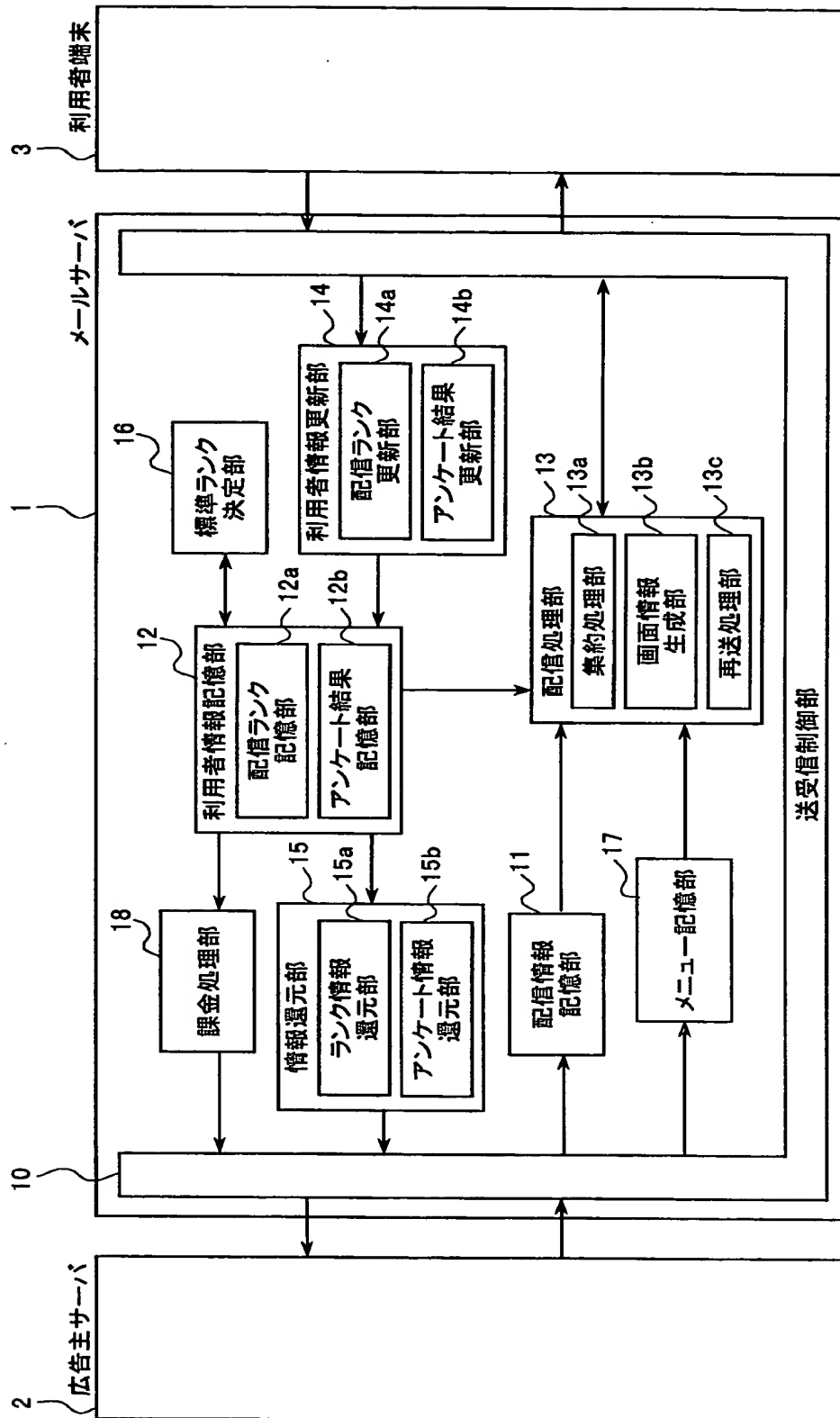
【図 1 4】 利用者端末からランク指定およびアンケート結果を受信したときの前記メールサーバの動作を示すフローチャート

【図 1 5】 メールサーバにより広告主に還元される情報の一例を示す説明図
【符号の説明】

- 1 メールサーバ
- 1 0 送受信制御部
- 1 1 配信情報記憶部
- 1 2 利用者情報記憶部
- 1 2 a 配信ランク記憶部
- 1 2 b アンケート結果記憶部

- 1 3 配信処理部
 - 1 3 a 集約処理部
 - 1 3 b 画面情報生成部
 - 1 3 c 再送処理部
- 1 4 利用者情報更新部
 - 1 4 a 配信リンク更新部
 - 1 4 b アンケート結果更新部
- 1 5 情報還元部
 - 1 5 a ランク情報還元部
 - 1 5 b アンケート情報還元部
- 1 6 標準ランク決定部
- 1 7 メニュー記憶部
- 1 8 課金処理部
- 3 1 要約
- 3 2 本文
- 3 3, 3 4 判別行
- 4 1 ランク設定欄
- 4 2 アンケート質問欄
- 4 3 アンケート回答欄
- 4 4 コメント入力欄
- 4 5 決定ボタン
- 5 0 ランク表示文
- 5 1 メール本文の先頭部分
- 6 1 チェックボックス
- 6 2 決定ボタン

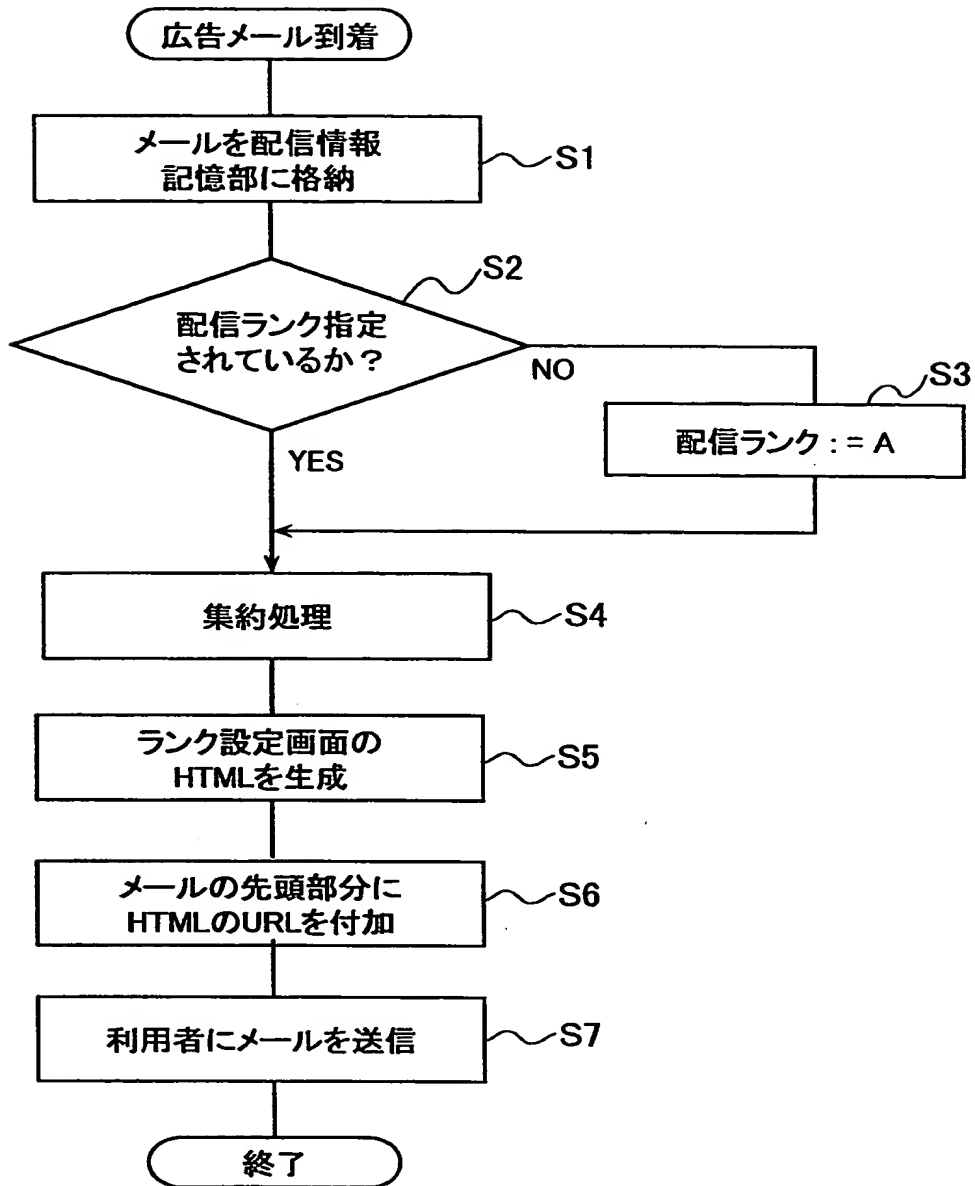
【図2】



【図 3】

利用者	送信元アドレス	ランク
× × × ×	SHOP@NET	C
	MALL@NET	D
△ △ △ △	SHOP@NET	D
	HOBBY@NET	A
	NEWS@NET	B

【図 4】



【図5】

-
- ★★★★★★★★★ SHOP NET News 2001年1月 ★★★★★★★★★★
-
- ◆広告◆.....
- ☆×××会員数5万人突破×××××××
- ☆×××××××××××××××
- ☆×××あなたも始めてみませんか×××××××
- ☆ <http://aaa.com/start.htm>
-
- (a) ■SHOP NET 最新ニュース
- ・×××××してハワイに行こう!
- SHOP NETでは、アウトドア用品の専門メーカーXXX社と提携し、期間限定で素敵なプレゼントをお送りしています。
- キャンペーン期間中正解された方の中から、抽選で2名様にハワイ旅行をプレゼントいたします。
- 詳しくはこちら <http://aaa.com/News.htm>
- 最新コンテンツ情報
- ・ミニ特集「WebXX」
- 最近、内容がかなり充実してきているのが、「WebXX」のサイト。とくに、渦中の人物へのインタビュー、話題の人物・事象がギッシリと詰まっています。その中のいくつかを、ご紹介しましょう。
- 詳しくはこちら <http://aaa.com/Special.htm>
-
- ★★★★★★★★★ SHOP NET News 2001年1月 ★★★★★★★★★★
- ◆広告◆.....
- ☆×××会員数5万人突破×××××××
- (b) ■SHOP NET 最新ニュース
- ・×××××してハワイに行こう!
- 最新コンテンツ情報
- ・ミニ特集「WebXX」
-
- ☐☐ SHOP NET News 2001年1月 ☐☐
- (広告)初めてみませんか××× <http://aaa.com/start.htm>
- (c) <1>SHOP NET 最新ニュース ××××××× してハワイにいこう!
- ・抽選で2名様にプレゼント <http://aaa.com/News.htm>
- <2>最新コンテンツ情報 ミニ特集「WebXX」
- ・内容充実の「WebXX」のサイト 話題がギッシリ
- 詳しくはこちら <http://aaa.com/Special.htm>

【図6】

33 →rank-ok sum
 31 { ■ ■ SHOP NET News 2001年1月 ■ ■
 (広告)始めてみませんか × × × http://aaa.com/Start.htm
 <1>SHOP NET 最新ニュース × × × × × × してハワイにいこう!
 ・ 抽選で2名様にプレゼント http://aaa.com/News.htm
 <2>最新コンテンツ情報 ミニ特集「WebXX」
 ・ 内容充実の「WebXX」のサイト 話題がギツシリ
 詳しくはこちら http://aaa.com/Special.htm
 34 →rank-ok org.....

★★★★★★★★★ SHOP NET News 2001年1月 ★★★★★★★★★★

◆広告◆.....
 ☆ × × × 会員数5万人突破 × × × × × × ×
 ☆ × × × × × × × × × × × × × × × × ×
 ☆ × × × あなたも始めてみませんか × × × × × × ×
 ☆ http://aaa.com/Start.htm

 32 { ■SHOP NET 最新ニュース
 ・ × × × × × してハワイに行こう!
 SHOP NETでは、アウトドア用品の専門メーカーXXX社と提携し、
 期間限定で素敵なプレゼントをお送りしています。
 キャンペーン期間中正解された方の中から、抽選で2名様に
 ハワイ旅行をプレゼントいたします。
 詳しくはこちら http://aaa.com/News.htm
 ■最新コンテンツ情報
 ・ ミニ特集「WebXX」
 最近、内容がかなり充実してきているのが、「WebXX」のサイト。
 とくに、渦中の人物へのインタビュー、話題の人物・事象がギツシリと
 詰まっています。その中のいくつかを、ご紹介しましょう。
 詳しくはこちら http://aaa.com/Special.htm

【図 7】

4

送信元: SHOP@NET 利用者: x x x x

◇ランク設定・変更

41 C ▽

42 ◇ランクを変更した理由を教えてください

43 商品購入後、関心が薄くなった為 ▽

◇一言入力欄

44 J-POP情報はよい △
▽

決定

45

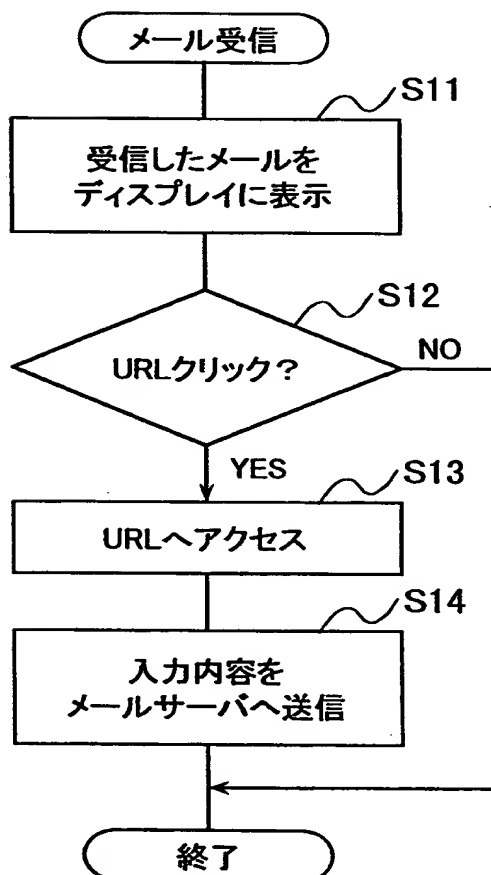
【図 8】

理由ID	表示内容
R1	商品購入後、関心が薄くなった為
R2	情報量が多過ぎる為
R3	メール送信の頻度が多過ぎる為
R4	商品の情報収集の為
R5	興味のある記事があった為

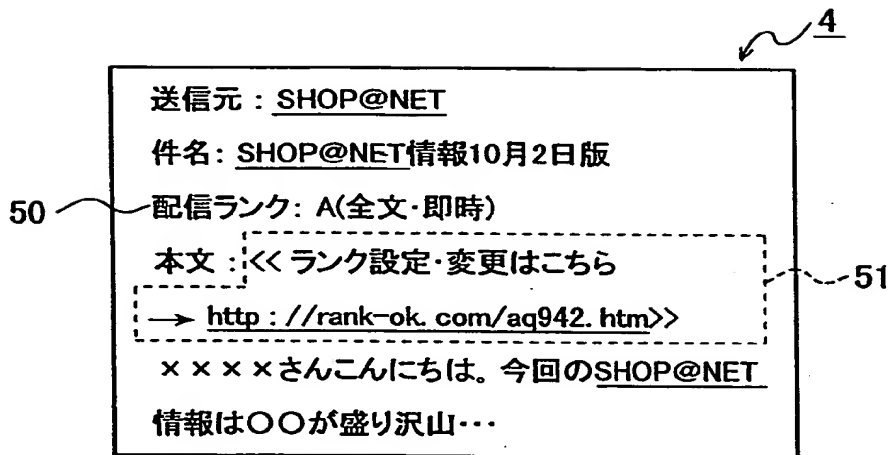
【図 9】

理由ID	表示内容
C1	パソコン本体の値段情報
C2	パソコン本体の機能情報
C3	ソフトの値段情報
C4	ビジネスソフトの機能情報
C5	ホビーソフトの機能情報

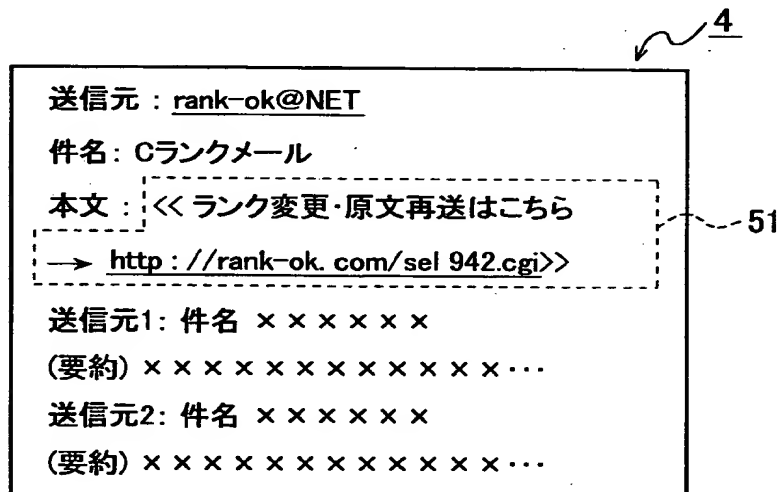
【図 1 0】



【図 1 1】



【図 1 2】



【図 1 3】

4

× × × × 様

ランク変更又は原文再送を選択して下さい

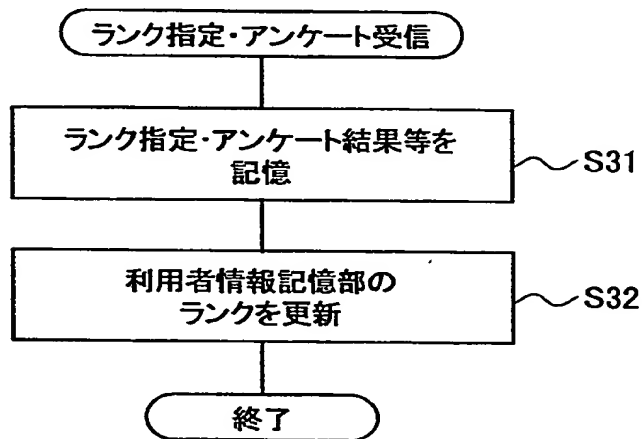
	ランク	原文
送信元1: 件名 × × × × × ×	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
送信元2: 件名 × × × × × ×	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
送信元3: 件名 × × × × × ×	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
送信元4: 件名 × × × × × ×	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

61

決定

62

【図 1 4】



【図 1 5】

送信元	利用者	ランク	アンケート回答	一言コメント
SHOP@NET	× × × ×	C	R1	JPOP情報はよい
	△△△△	D	R2	

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 受け手の希望に応じて、受け手へ配信する情報の情報量を調節することにより、受け手の利便性を向上できる情報配信装置を提供する。

【解決手段】 各利用者は、各広告主から配信されるメールについて、集約度指定を含む複数段階の配信ランクのうちのいずれかを選択できる。利用者が選択した配信ランクはメールサーバに記憶される。メールサーバは、広告主からメールの配信依頼があったとき、当該メールの受け手である利用者によって当該広告主のメールに対して配信ランクが指定されている場合、指定された配信ランクの集約度指定に従ってメールの内容を集約し、当該利用者へ送信する。また、各広告主に対し、利用者の評価およびアンケート情報が、メールサーバを介して還元される。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社